

氏名	滝 下 照 章
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 号
学位授与の日付	平成16年9月30日
学位授与の要件	医学研究科外科系耳鼻咽喉科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Characterization of allergen-specific monocyte-derived dendritic cells generated from monocytes by a single step procedure: Effect on naive and memory T cells (抗原特異的単球由来樹状細胞のナイーブT細胞とメモリーT細胞に対する抗原提示能)
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 保田 立二 助教授 池田 正徳

#### 学位論文内容の要旨

樹状細胞は生体に広く分布しT細胞を活性化させる、きわめて強力な抗原提示細胞で、また他の抗原提示細胞と異なり、Th1またはTh2への免疫偏位を誘導することができる特徴がある。我々は末梢血単球をIL-4, GM-CSF, TNF- $\alpha$ で培養を開始する際にダニ抗原で同時に刺激し、ダニ抗原に特異的な単球由来樹状細胞を簡単な方法で作りに出した。ダニ抗原で前刺激して樹立した単球由来樹状細胞は、抗原の再刺激無しでメモリーT細胞とナイーブT細胞の両方を刺激する能力があることが判明し、抗原提示能は少なくとも4週間は持続しうることを観察した。さらにこの樹状細胞は、アレルギー患者のナイーブT細胞を抗原特異的にTh1型反応に誘導することができることが判明した。これらの結果より、抗原で前刺激した単球由来樹状細胞はアレルギー疾患の研究において有用性をもち、さらには抗原特異的な免疫療法として利用することができる可能性を持つことが示唆された。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、末梢血単核球にIL-4, GM-CSF およびTNF $\gamma$ の3種のサイトカインとダニ抗原を同時に加えて誘導した樹状細胞の抗原提示能を検討したものである。この結果、メモリーT細胞とナイーブT細胞の両者を刺激する能力があることを明らかにした。さらに、アレルギー患者では、Th1細胞を誘導することを明らかにした。これらの結果は、アレルギーの病態解明において、また樹状細胞の免疫療法における利用の可能性を示唆する重要な知見であり、価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。